

道内の感染状況等について (案)

【令和3年9月29日】

主な指標の状況

	感染状況			医療提供体制等の負荷			
	10万人あたり 新規 感染者数	感染経路 不明割合	PCR 陽性率	医療の逼迫具合			10万人あたり 療養者数
				入院医療		重症者用病床	
				病床使用率	入院率	病床使用率	
全道 (9/29)	6.6 人/週 (346人/週) 	37.9% 	2.1% 	(9/28) 9.7% (193床) 	—	6.3% (9床) 	9.2人 (483人)

道ステージ4基準 (国ステージⅣ)	25人/週以上 (10万人あたり)	50%以上	10%以上	50%以上	25%以下	50%以上	30人以上 (10万人あたり)
道ステージ3基準 (国ステージⅢ)	15人/週以上 (10万人あたり)	50%以上	5%以上	20%以上	40%以下	20%以上	20人以上 (10万人あたり)

※()は実人数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

※入院率は、入院できない自宅療養者数の増加等を把握するための指標であり、療養者数が10万人あたり10人以上の場合に適用。

特定措置区域の主な指標の状況

9/29	感染状況			医療提供体制等の負荷			
	10万人あたり 新規 感染者数	感染経路 不明割合	PCR 陽性率	医療の逼迫具合			10万人あたり 療養者数 (三次医療圏)
				入院医療		重症者用病床	
				病床使用率 (三次医療圏)	入院率 (三次医療圏)	病床使用率	
札幌市	10.1人/週 (198人/週)	37.9%	2.4%	(9/28) 13.3%	—	5.8%	13.8人 (270人)
石狩振興局 (札幌市を除く)	6.4人/週 (27人/週)	48.1%	4.6%	(9/28) 道央圏 (札幌市を除く) 5.4%	—	全道 (札幌市を除く) 6.6%	(9/28) 道央圏 (札幌市を除く) 4.4人 (60人)
小樽市	2.7人/週 (3人/週)	33.3%	0.5%	(9/28) 道北圏 9.6%	—		(9/28) 道北圏 12.0人 (71人)
旭川市	13.3人/週 (44人/週)	38.6%	2.0%				

地域における主な指標の状況

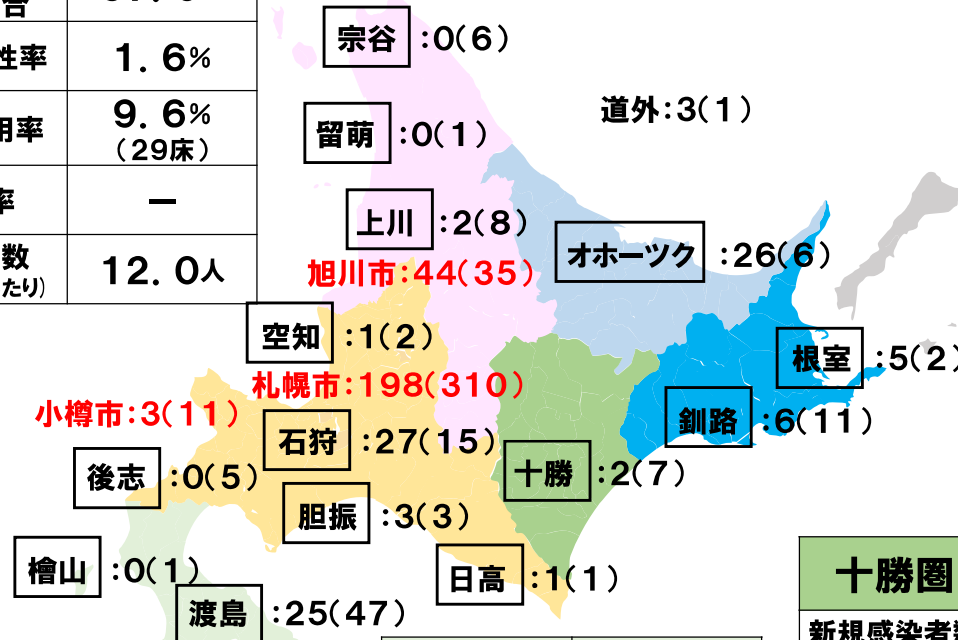
【9/29現在】

※病床使用率、療養者数は
9/28時点

札幌市	指標値
新規感染者数 (10万人あたり)	10.1人/週
感染経路 不明割合	37.9%
PCR陽性率	2.4%
病床使用率	13.3%
入院率	—
療養者数 (10万人あたり)	13.8人 (9/29)

道北圏	指標値
新規感染者数 (10万人あたり)	7.8人/週
感染経路 不明割合	37.0%
PCR陽性率	1.6%
病床使用率	9.6% (29床)
入院率	—
療養者数 (10万人あたり)	12.0人

新規感染者数(振興局別)
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



オホーツク圏	指標値
新規感染者数 (10万人あたり)	9.5人/週
感染経路 不明割合	19.2%
PCR陽性率	3.2%
病床使用率	1.7% (2床)
入院率	—
療養者数 (10万人あたり)	7.7人

道央圏 (札幌市除く)	指標値
新規感染者数 (10万人あたり)	2.6人/週
感染経路 不明割合	42.9%
PCR陽性率	1.2%
病床使用率	5.4% (24床)
入院率	—%
療養者数 (10万人あたり)	4.4人

道南圏	指標値
新規感染者数 (10万人あたり)	6.0人/週
感染経路 不明割合	48.0%
PCR陽性率	3.3%
病床使用率	20.7% (40床)
入院率	—
療養者数 (10万人あたり)	14.1人

十勝圏	指標値
新規感染者数 (10万人あたり)	0.6人/週
感染経路 不明割合	100%
PCR陽性率	0.3%
病床使用率	0.8% (1床)
入院率	—
療養者数 (10万人あたり)	0.9人

釧路・根室圏	指標値
新規感染者数 (10万人あたり)	3.7人/週
感染経路 不明割合	36.4%
PCR陽性率	4.2%
病床使用率	6.4% (13床)
入院率	—
療養者数 (10万人あたり)	7.4人

※地域別の感染状況や医療提供体制等の負荷は、変動が大きくなる場合があることに留意。 3

総 評①

【感染状況】

- 全道の新規感染者数は、減少が続いており、10万人あたり6.6人となった。集団感染の確認も減少している。
- 札幌市を含む、特定措置区域の新規感染者数についても減少が続いている。主要な地点の人流は、減少が見られる。

【医療提供体制】

- 療養者数及び入院患者数は減少が続いている。
重症者数も減少が見られる。

【ワクチン】

- 道内の全人口に対する接種率(医療従事者等を含む)は、9月27日現在、1回目 66.1%、2回目 54.5%。これまでに、道民の半数以上の方が、2回目の接種を終えている。

総 評②

【今後の対策】

- 9月30日をもって、本道の緊急事態宣言の終了が決定され、道の警戒ステージにおいて、すべての指標でステージ3の水準を下回ったことを踏まえ、ステージ2に移行する。
- しかしながら、ワクチン接種が進んでいく中、国において、日常生活の回復に向けた検討が進められ、これまでの対策が大きく転換する可能性がある重要な局面を迎えている。また、人の移動が活発化する秋の行楽シーズンを迎え、国の専門家から、普段会わない人との接触機会が再び増えることで、再拡大につながる懸念が指摘されている。
- このため、緊急事態宣言終了後の急激な人流の増加を抑え、早期の再拡大を回避するために、一様ではない地域の感染状況や段階的な緩和の観点等を踏まえ、必要な対策を講じる。
- 第三者認証制度については、札幌市内の飲食店から順次開始する。また、国が行う飲食店やライブハウスでの技術実証の取組と連携する。
- 感染症の流行期である冬の到来に備え、臨時医療施設の開設を含め、医療提供体制の点検・強化を行うなど、医療提供体制の確保に万全を期す。
- 一般接種が進む中、特に若年層のワクチン接種率の向上に資するよう、ワクチンへの正しい理解の促進等に関する広報を積極的に展開するなど、今後とも市町村や関係機関とともに、希望する方が一日も早くワクチンを接種できる環境づくりに取り組む。併せて、3回目の追加接種に関し、国からの情報収集等に努める。